

# そごろ宗兵衛江戸暦1 春の嵐 藍川慶次郎



むこうじまでらしまむら  
向島寺嶋村

あさくさかやちよう  
浅草茅町

くぜひろかげ  
久世広景

こうめむら  
小梅村

かんだまつしたちよう  
神田松下町

くぜさまのすけ (長男)、せつたなおし はんべえ  
久世左馬助 (長男)、雪駄直しの半兵衛 (手先)

やなぎしまむら  
柳島村

やなぎはらどて  
柳原土手

うまのすけ (息子 内与力) = つついうまのすけ みさと  
右馬之助 (息子 内与力) = 筒井右馬之助 — 美里 (妻)

しんぼりむら  
新堀村

よしかわちよう  
吉川町

じんすけ (中間)、彦四郎 (若党)、お鹿 (下女)

ざるえちよう  
猿江町

やげんほり  
薬研堀

いちのしん  
市之進 (岡崎藩浪人の子)

おのえちよう  
尾上町

こでんまちよう  
小伝馬町

くぜうまのすけ (次男) = つついがのかみまさのり  
久世右馬助 (次男) = 筒井伊賀守政憲 (南町奉行)

ときわちよう  
常磐町

たちばなちよう  
橋町

いぬいじろう ぎえもん  
乾次郎左衛門 (年番与力 美里の父)、栄之進 (養子)

くろえちよう  
黒江町

にんぎようちよう  
人形町

すがの でんじゅうろう  
菅野伝十郎 (隠密廻り同心)

つくだじま  
佃島

さかいちよう  
堺町

こぜきしんたろう  
小関信太郎 (南町定町廻り)、佐吉 (小者)

わだくらごもん  
和田倉御門

たかさごちよう  
高砂町

さかぐちやしちろう  
坂口弥七郎 (本所廻り同心)

たつくち  
辰の口

こあみちよう  
小網町

のぐちてつぞう  
野口徹蔵 (臨時回り同心 十手道場師範)

いけのはた  
池之端

ほんちよう  
本町

さかきばらかずえのかみただゆき  
榊原主計頭忠之 (北町奉行)

だいまようこうじ  
大名小路

みなみかやばちよう  
南茅場町

みずのただあきら  
水野忠成 (老中首座)

したやまざきちよう  
下谷山崎町

こうじまち  
麴町

なかのせきおう  
中野碩翁 (将軍の側近)

びょうぶさか  
屏風坂

よつやさめがぼし  
四谷鮫ヶ橋

かめふじ おきさ (女将 左馬助の娘)、せいすけ (番頭)、よきち (板前)、かつじろう (手代)

ゆしまどうほうちよう  
湯島同朋町

あおやまひやくにんちよう  
青山百人町

ひなのゆ  
雛乃湯 お京 (後家)

したやおかちまち  
下谷御徒町

おわりちよう  
尾張町

かわだやきゆうすけ (船宿)、すすきだじんさい (町医者)、さだきち (玉屋の花火師)

したやおりべいこうじ  
下谷練堀小路

しばぐち  
芝口

ごろぞう  
五郎蔵（人宿の顔役）

せいしんに  
精心尼（庵主 花の戸）

こちように りこうせん あげは  
胡蝶尼、李江宣（父 唐人闇取引）、揚羽（母 お吉）、おしん（女童）

ひだやじん ざえもん しんたんどんや つねぞう ごんろく おかじまさない  
飛驒屋甚左衛門（薪炭問屋）＝ 大浦の常蔵、権六、岡島左内（唐人通詞）

きくかわ おあしらい ゆきえ  
菊川（大奥御客会釈）、幸江（御次）

みのきち  
巳之吉（呉服問屋尾張屋の手代）

つごろう くろさきまた えもん  
鉄五郎（菊川の弟 佃島の網元）、黒崎又右衛門（道場主）

もくべえ  
奎兵衛（黒江町の木戸番）

こうう えもん  
幸右衛門（松下町名主）

こうちやまそうしゅん しづ さんのすけ  
河内山宗俊（数寄屋坊主）－ 志津（妻）、三之助（息子）

ほたるこぞう ましら みぞぐちいち ざえもん  
蛍小僧＝ 猿の三兄弟、長次、次郎吉、三次、溝口市左衛門（浪人）

裏天神の亀蔵（湯島の岡っ引）－ お豊（後家）、新六（手代）

はちべえ  
八兵衛（質屋）

にしち  
仁七（湯島の岡っ引）

もりたりんぞう  
森田林蔵（宗兵衛の旧友 植木名人）

ひじかたぬいのすけ おおくぼいすけ  
土方縫之助（水戸家 家老）、大久保今助（留守居役頭列）